

第 1375 回 例会

10月10日(火)金沢ニューグランドホテルにて通常例会が開催されました。

今回は大垣ライオンズクラブより6名の方が参加されました。

若林会長からは大垣ライオンズクラブは60周年を超える歴史を持ちガバナーを3名輩出している地域に根付いたライオンズクラブ。三つのライオンズクラブとエクステンションしている、金沢東ライオンズクラブとはガバナー同士の縁で44年になり、アクティビティも一緒に行っている姉妹クラブであると紹介があった。

大垣ライオンズ祿宜会長からは自分自身の略歴が紹介され、大垣ライオンズクラブは4月13日に60周年記念大会があった。会員一人一人が多く楽しく参加できるようなクラブにしたいと思っている。金沢東ライオンズクラブとは太く永くお付き合いしたいと思っていると挨拶された。

社会奉仕委員長西田Lから10月8日ライオンズデーには25名の参加を得て四高記念公園付近の清掃活動をした報告があった。

今月のメンバースピーチはオークス株式会社加藤L。オークスは富山県に本社があり冠婚葬祭、介護業を主として経営。

金沢では鳴尾台でセレモニーホールがある。葬儀には三つの別れがある1宗教上の別れ2故人と社会的な別れ3故人と家族、親しい人の別れがあり最近では3番を大事にする家族葬が増えてきている。

新聞のお悔み欄に掲載されるのは全体の67.1%5年間で10%下がった。家族葬が増えてきているのでそれに合わせホー

ルが改装されてきている。オークスも市内に来月家族葬専門のホールをオープンする。家族葬のメリットは参列者への負担も少なく返礼品も少ない。デメリットは家族葬としても当日参列され人も多く、後日自宅へお参りする人も多く対応が大変。いずれにせよ故人の遺志が一番であるとスピーチ。ためになるお話でした。

細川テールツイスターからは自分自身が大垣ライオンズクラブ60周年記念大会に参加し熱烈的な歓迎されたことを報告。本日参加の大垣L6名の方が金沢で楽しんで帰れるように尾山神社でお祈りをしてきたと挨拶がありました。

(記事 林 昭夫L)